

新S棟建設プロジェクト!

清水建設株式会社
なかがわ ともや
中川 智也さん



清水建設株式会社 四国支店 愛媛営業所 工事主任。
大阪府大阪市出身、39歳。金沢工業大学大学院
を修了後、平成10年に清水建設へ入社。奥様、息子さんと松山市にお住まいで、
今年12月には第二子誕生予定です。

今回は、現場の運営管理や病院との打ち合わせ・調整、近隣・
諸官庁との折衝などをおこなっている清水建設 中川さんをご
紹介します。

Q. 松山での生活はいかがですか？

A. 今年の2月から愛媛営業所勤務になりました。今までに
18ヶ所転勤しましたが、松山の人たちは人柄がとてもし
いのですし、学校や病院などの環境も整っていて、仕事の

面でも生活の面でも一番住みやすい所です。永住も考えた
いですね(笑)。

Q. 新S棟建設工事で重視している点は？

A. 病院機能、運営を阻害しない施工方法で、求められている
品質を造りこんでいくことです。こちらの現場では最盛期
には約500人が働きます。人をうまくマネジメントしてい
くのは大変ですが、事故やケガなく、よりよい建物を造る
ための指導、指示を心がけています。

昨年福島第一原発の復興工事で4ヶ月間いわき市に滞在しま
したが、周囲の建物は倒壊し、悲惨な光景を目の当たりにしま
した。巨大地震であっても、病院の機能を失うことなく、地域
のために活躍できる松山市民病院新棟を当社の技術を結集し、
情熱を持って完成させていきたいと思っております。ご迷惑をおかけ
しますが、工事に関してのご理解をお願いいたします。

お知らせ

INFORMATION

健診係直通の電話が設置されました
TEL 089-915-2077

当院では9月より新たに脳ドック、レディース検診(乳がん+
子宮頸がん)を開始しました。それに伴い、健診係直通の電話
を設置しましたので、お気軽にお問い合わせください。検診・
ドックの詳細内容はホームページでもご覧いただけます。

『救急医療功労者厚生労働大臣表彰』受賞

平成24年9月10日、厚生労働省にて表彰式がおこなわれま
した。この賞は長年にわたり地域の救急医療の確保に尽力した団体
または個人に贈られるも
のです。当院は早くから救
急告示医療機関として、救
急患者の受入れに貢献し
たことが認められ表彰さ
れました。



はな・一期一会 Vol.24



立葵 タチアオイ
Althaea rosea 宇和島市

葵科の多年草で日本には、古くから薬用として渡来した。
語源は、ギリシャ語の「althaino(治療)」とされる。草丈は1~
3mで茎は直立し、花期は6~8月で、垂直に伸びた花茎の下
から上に咲き上っていき、しばしば民家の塀を越えて咲いて
いる。色は、白・赤・ピンクなどであり、写真はピンクのもの。盛
夏に天空に向かって大きくあでやかに咲く姿は、威厳・高貴・
大志などの花言葉に似つかわしい。静岡市と会津若松市の
市花。ホリーホック(hollyhock)とも呼ばれ、Jリーグの水戸
ホーリーホックのクラブ名はこれに由来する。今年は花期が
少しずれている? (写真・文/大拙祐治)

地域連携だより Vol.10

地域連携室 三谷 直紀

本年1月より稼働しております地域連携システムは、現在31の
診療所と、中予地区の回復期病床併設病院を含む10病院の、あ
わせて41医療機関に導入されています。さらなるネットワークの
構築を計りたいと考えております。

本システムは、当院で実施した患者さんの医療情報(画像、検
査データ等)を仮想プライベートネットワーク回線を経由して、各
医療機関のPCから閲覧できるサービスです。患者さんが入院に
なった場合でも画像、検査データ等を通じて状態を把握すること
が可能です。地域医療連携を円滑かつ緊密に行うことができる
ツールとして、お役立てください。

実際に地域連携システムを見てみたいとお考えの先生には、
実機をお持ちし、説明にお伺いいたしますので、お気軽にご要望
ください。

今後、地域連携室は看護師、保健師、ケアマネージャーの配置
を予定しております。連携業務のさらなる機能充実をめざし、患

お問合せ

地域連携室 三谷、岡田
直通電話：089-913-0081

メール：syoukai@matsuyama-shimin-hsp.or.jp

※地域連携システム操作イメージを当院ホーム
ページに用意致しましたので、ご覧ください。

者さんへのサー
ビス向上に、より
一層取り組んで
まいりますので
どうぞよろしくお
願い致します。